

校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

誠實に謙虚に生きよ
暖かい心で人に接し
奉仕と感謝の心を養え
常身を慎み反省を
研鑽を怠るな

創業者 博士 高橋順一郎先生 提唱
建学の精神
中央学院大学
校友会本部

理事長・校友会長のあいさつ



(学)中央学院 理事長
中央学院校友会会長

佐藤 昌信

校友会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

学校法人中央学院の理事長を拝命してから概ね一年が経ちました。この間、経営会議・理事会及び評議員会議の運営、学院高校の甲子園出場・大学箱根駅伝シード権の獲得、各種裁判等の対応など、幅広い分野にわたる議論を重ねて参りました。最近では、千葉県を襲った一連の台風等の自然災害に対するものもありますが、利根川の河川敷にある堤防内のグラウンドが水位上昇で水没するなどの被害を受けたことを除き、大きな損害を受けることなく無事に過ぎしております。

さて、今日における最大の課題は、令和2年4月1日施行予定の私立学校法の改正に向けた取り組みを進めることにあります。①役員の職務及び責務の明確化等に関する規定の整備であり、②情報公開の充実であり、③中長期的な計画の作成であります。他には破綻

処理手続きの円滑化や監事の役割強化などについても検討を加えて対処しているところです。こうした動きの背景には、いよいよ始まる十八歳人口の減少が実質的に近づいてきたからにほかなりません。

今年は、天皇の退位及び即位の礼、祝賀会とパレード、大嘗祭等の神事がテレビ等で国民の前に披露されました。普段皇室行事に深く関わりのない私などは、皇室と国民とのかかわりについて、日本の歴史の奥深しさを十分に感じ取ることができました。令和元年度が新しくスタートして半年、大学および高校を通して、全てが定員割れもなく順調に滑り出しています。しかしながら、人口の減少という魔物が間近に迫っていることを考えると、時を疎かにしているわけにはいきません。時代の変化に飲み込まれることなく、むしろ乗り越える力が必要です。

人口減少は、最近のニュースでみると予想を超えて進んでいるとのことですから、いつ何時学校崩壊の現実にも襲われかねません。そのためにも、学校法人全体で一糸乱れず力を結集しなければなりません。お尻に火がついてからでは、間に合いません。事前の準備

と備えが必要です。目標の見えない時こそ、私学における建学の精神の存在は何事にも強い味方にほかなりません。我が中央学院には、創設者である高楠順次郎博士が唱える建学の精神が120年の時を刻みながら、脈々と語り継がれています。

誠実に謙虚に生きよ
暖かい心で人に接し
奉仕と感謝の心を養え
常に身を慎み
反省と研鑽を怠るな

建学の精神が象徴する理想に向けて社会変革に取り組むことが大切です。私に課せられた最大の責務は建学の精神の具体化であり、この崇高な目的の実現に向けて関与を強化していくことにあります。

来年度から実施する、入試改革の一環として、英語入試の民間活用や国語・数学の記述式採用が、間近に迫った導入の段階で、急転直下、文部科学相が中止の記者会見する等、教育界は混乱しています。改めて、建学の精神が象徴する理想に向けて、中央学院が、互いに絆を強め、気揚力しながら、荒海を乗り越え順風満帆な航海に進むことを期待したいと存じます。

平成31年度

谷本副会長による平成31年度の事業計画、並びに梅津会計理事による予算案が提案・審議されました。出席者からの質疑応答を経て全会一致で原案が可決されました。

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回制作を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活発化させる
- 七、ホームページの充実をはかる



総会後懇親会の様子

平成31年 合同新春懇親会



佐藤校友会
会長の挨拶

ビンゴ大会の司会進行を中野常任理事が務めました。



土田校長
挨拶



石井 PTA
会長挨拶



鈴木永代会
会長挨拶



長谷川 PTA
副会長乾杯



大鷲事務長へ退職記念品贈呈

大鷲事務長へ退職記念品贈呈

令和元年度
校友会役員名簿

平成31年度
理事会(総会議案の審議)

4月18日(木) 十七時より、中央高校校友会室において監事による会計監査が行われ、秋山・石田両監事より監査報告が理事会に提出された。

理事会は、十八時三十分より中央高校会議室で開催されました。定時評議員会及び懇親会開催に向けての審議・検討が行われました。付帯事項として、評議委員会の役員出席が思わしくない現状であることから、会員の増強について各自意見をまとめる事となりました。

特には、若手会員の出席が思わしくない状況について、改善策を皆で検討したい旨の発言がありました。

校友会理事会(歴史探訪)
江東区「中川船番所資料館」

九月二十一日(土) 都営地下鉄新宿線東大島駅大島口改札前十時集合にて、天気は曇りで先ず先ずの街歩きのレストランとなりました。

コースは中川船番所資料館から小名木川遊歩道を散策して、サンロード中の橋商店街をへて、理事会場所のJR亀戸駅東口、まつば寿司がゴールの120分コースです。

参加人数は街歩きが10名で、理事会が12名でした。

(1)中川船番所資料館では、学会員の久染講師より六十分の館内案内と解説をし

て頂きました。特に印象に残ったのは、船番所の目印としての長い槍4本が立てかけて有り、幕府の威厳が感じられました。

中川船番所資料館パンフレットより

中川番所は小名木川西端の隅田川口に設けた深川番所が寛文元年(1661)

東端のこの地に移転したものです。小名木川は徳川家康が最初に開削した運河で、関東一円の水体系「奥川筋」(関東・東北地方南部を含む地域の水系の総称)とつながり、ここから江戸に出入りする船は必ず中川番所で検査を受けることになっていました。

「水路からみた江戸の入口」の関所が中川番所でした。

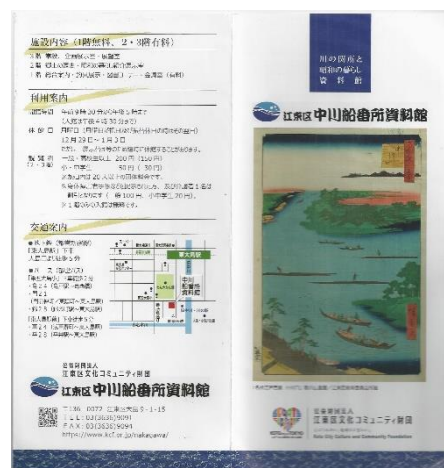


中川船番所資料館での記念撮影

(2)小名木川の遊歩道は川面を見ながら往時の賑やかな物資を運ぶ船を思い浮かべ、また参加者の近況を語りあうのんびりとした散策となりました。
(3)中の橋商店街は下町らしい活気のある店が多数点在しテレビ番組にも取り上げられる地域です。とくに餃子がたっぷりのアンパンは予約一ヶ月待ちの人気のパン屋さんです。お物産店は何軒もあり大変安い揚げ物・焼き鳥等が並べられ競っているようでした。また、八百屋さんも数軒あり季節柄の冬瓜を売っていたりして楽しい街歩きとなりました。



解説を受けながら見学



(4)正午よりまつば寿司にて理事会
佐藤会長より一二〇周年記念事業実施決意表明が開会のご挨拶となりました。土田校長からは学校の近況報告があり、特にレスリング部の大会報告、写真部の江東区写真コンクールでの受賞などのお話がありました。
続いて中島専務理事より校友会人事の報告があり、また二〇周年記念事業の今後の進め方についての提案が成されました。
より、一二〇周年に向け校友会が一致団結して望む事を確認し閉会となりました。



理事会会場 まつば寿司にて

会務報告（平成30年度）

*平成30年

4月4日 学院大入学式

4月9日 中央学院高校入学式

4月10日 中央高校入学式

4月18日 決算監査

4月18日 校友会理事会

6月22日 定時評議員会（総会）

10月7日 中央祭（文化祭）

10月20日 理事会・街歩き

（墨田区横川）

たばこと塩の博物館

12月21日 理事会（納会）

*平成31年

1月2日 箱根駅伝（往路）

1月3日 箱根駅伝（復路）

1月3日 駅伝慰労会

2月1日 四者合同新年会

3月2日 中央高校卒業式

3月2日 臨時役員会

3月2日 中央高校謝恩会

3月9日 中央学院高卒業式

3月20日 中央学院大学

学位記授与式

平成30年度（2018年度）収支決算書

自平成30年 4月 1日
至平成31年 3月31日

（単位：円）

収入の部	決算	予算	差異	支出の部	決算	予算	差異
会費収入	1,519,000	1,500,000	19,000	評議員会費	640,339	300,000	340,339
寄付金収入	50,000	10,000	40,000	会報等印刷通信費	193,088	450,000	△256,912
雑収入	48,009	0	48,009	同期会補助	10,000	30,000	△20,000
				同好会補助	20,000	30,000	△10,000
				事務費	60,000	60,000	0
				慶弔費	26,000	50,000	△24,000
				スポーツ奨励金	30,000	60,000	△30,000
				中央学院連合協議会々々費	0	10,000	△10,000
				委員会活動費	0	100,000	△100,000
				新入生卒業生記念品	481,896	400,000	81,896
				雑費	93,500	50,000	43,500
				寄付（中央高・学院高）	295,364	100,000	195,364
経常収入計	1,617,009	1,510,000	107,009	経常支出計	1,850,187	1,640,000	210,187
基本財産運用収入	49,988	38,000	11,988	基本財産組入支出	0	0	0
前年度繰越金	3,191,347	3,191,347	0	次年度繰越金	3,008,157	3,099,347	△91,190
計	4,858,344	4,739,347	118,997	計	4,858,344	4,739,347	118,997

※他に基本財産 12,000,000 円（ミズホ社債 1,000万円（0.305%） 5年大阪府公募債 200万円（0.0865%）

会費収入につきましては、平成28年度新入生から入会金10,000円、卒業時に会費として10,000円を徴収することになりました。

会費収入につきましては今年度入学者82名+7名の会費収入がございました。

平成31年度（2019年度）収支予算書

自平成31年 4月 1日
至令和2年 3月31日

（単位：円）

収入の部	予算	前年度予算	差異	支出の部	予算	前年度予算	差異
前年度繰越金	3,008,157	3,191,347	△183,190	評議員会費	300,000	300,000	0
会費収入	2,570,000	1,500,000	1,070,000	会報等印刷通信費	450,000	450,000	0
寄付金収入	10,000	10,000	0	同期会補助	30,000	30,000	0
雑収入	0	0	0	同好会補助	30,000	30,000	0
				事務費	60,000	60,000	0
				慶弔費	100,000	50,000	50,000
				スポーツ奨励金	60,000	60,000	0
				委員会活動費	100,000	100,000	0
				中央学院連合協議会々々費	10,000	10,000	0
				新入生・卒業生記念品	400,000	400,000	0
				学校設備補助金（新規）	100,000	0	100,000
				学校一般寄付金（新規）	100,000	0	100,000
基本財産運用収入	49,000	38,000	11,000	雑費	50,000	50,000	0
				備費	100,000	100,000	0
				基本財産組入支出	0	0	0
計	5,637,157	4,739,347	897,810	次年度繰越金	3,747,157	3,099,347	647,810
				計	5,637,157	4,739,347	897,810

※同期会補助—同期会（クラス会でないもの）の年間補助1回10,000円。

※同好会補助—年間補助1回20,000円。

※スポーツ奨励金—中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒・運動部に対して奨励金を支給する。

※平成31年度新入生—151名3年生106名計257名の会費収入を見込んでおります。

中央祭

中央祭実行委員会

一〇月六日、日曜日に平成から令和に変わって初めての中央祭がおこなわれました。当日の天候は大きく崩れることなく来場者数も1000人を超えるものとなりました。そして今年には生徒が考えた中央祭のスローガンも元号を意識したものでした。今年度は、「令和・一発！〜クセがスゴイ中央祭！〜」です。これは、新元号である令和を取り入れたいという意見と個性豊かなクラス企画をお笑いのツッコミで表現したいという考えのもと話し合いをして決定しました。

装飾に関しては、中央階段全面を使用し、階段アートを作成し、さらに新元号を前面に押し出したインパクトのあるものをラウンジの一番目立つところに配置しました。来場者の方々が校舎に入り、中央階段を上りラウンジで目の前の大きな作品を見上げている姿を見ることができてとても嬉しく思いました。

また、階段アートを作成しています。が、数年前に初めて作成した時よりも完成度が高く、細部までこだわりの見える各クラスの個性あふれる作品が出来るようになりました。そして、下駄箱のガラスのドア部分にはキットパスという水で消せるペンを使い、生徒それぞれの絵を描き装飾をしました。

校舎内においては各クラスの模擬店
また、今年は東京オリンピックの開催決定に伴い、オリンピックの歴史を調べ学習として展示しました。改めてオリンピックの歴史を知ることができるものとなりました。体育館では有志グループによる歌やダンスや音楽の発表などをおこないました。今年は1年C組がクラスの企画としてダンスを体育館で披露しました。今後、このようなクラス企画の発表が増えてくることによりまた新しい中央祭ができると思います。

募金活動については山形県沖で発生した地震に加え、九州北部豪雨の災害復興支援募金を行い、多くの皆さまにご協力をいただきました。

中央祭当日は、校友会の皆さまをはじめとして、たくさんの方々の保護者の方々、多くの一般の方々にご来場いただきまして本当にありがとうございました。中央祭の実施にあたり、ご協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。無事に中央祭を成功させることができました。成功させることができたのも、中央祭実行委員会の仲間と協力し、助け合うことができたからだと思います。中央祭実行委員会のみならず、ありがとうございました。そして、陰ながら応援してくださった先生方、中央祭の開催にご協力いただきましたPTAの方々にも生徒代表として改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



PTAの取り組み

PTA会長 二宮 友幸

まず初めに2019年度PTA会長を務めることになりました、二宮友幸と申します。

本年度はPTA役員メンバー総数五十七人にてPTA行事を運営しております。今後もPTAに参加してみたいとお考えの方を随時募集しております。

中央学院大学中央高校でのPTAの役割は、本来のPTAとしてアメリカで発足した19世紀の目的を忘れずに、子どもの健全育成と教育環境の監視、学校との連携を軸に民主的な任意団体として活動していきます。

PTA活動といたしまして、毎年開催される中央祭へPTAブースとして企画・運営・出店し、当日は普段なかなか見る事のできない、生徒たちと協力して中央祭を運営しています。PTAブースは売切確実の人気ブースとなっております。同じく毎年開催される体育祭では、PTA限定Tシャツを配布し着てもらうドリンクブースを出店したり、受付担当をしたりと生徒たちと近い環境にて交流を深めながら、体育祭運営のお手伝いをしております。

来年度の2020年には120周年を迎える記念すべき年になります、PTAといたしまして、来年度は中央祭、体育祭に加え、120周年行事も開催する予定となっております。

お子様の成長は社会に出るまでに、3度の6年間を経験します。私なりの考えですが、生まれて小学生になるまでの6年間、小学生のあいだの6年間、中学生から高校卒業までの6年間、振り返ってみると目まぐるしく忙しい日々を送ってきたと思いますが、それに反してあつという間の年月だったと思います。高校を卒業した頃には、親と子の接する時間が極端に減り、社会の一員として巣立っていきます。ここで最後の世話を焼く、余計なお世話をPTAと共に、お子様の姿を見て活動して、思いで作りの一助になればと考えております。



中央祭PTAブース



中央祭販売準備中

私はこの学校に入学して間もなく研修旅行に参加しました。この研修旅行に参加したことは、今の私にとって、とても良い経験だったと感じています。

この研修旅行では、富士山の麓、河口湖の湖畔の研修施設で、建学の精神について学んだり、校歌を暗記し合唱したり、今後の授業のことについて等、中央高校について多くのことを学ぶことができました。

また、入学したばかりの同級生と同じ環境で協力して行事に参加したことにより、仲間意識を深めることができ、学校生活にスムーズに慣れることができました。その後に行われた体育祭や文化祭ではクラスメートと団結し、行事を成功させることができました。このように今後の学校生活を充実させるためにも役立ったと思います。

そして、今後の行事を成功させるために、この研修旅行は必要だと思えます。今後この素晴らしい行事をと本校の

☆第一学年研修旅行

1年C組 鈴木 聖矢

中央学院大学

中央高等学校



伝統を、是非続けていってほしいと私は思います。



☆第二学年修学旅行

二年A組 サングレイ クリストファー

六月八日から十三日までの六日間、修学旅行でハワイを訪れた。

私はフィリピンと日本以外の国を訪れたことがなく、アメリカを訪れるのは初めてだった。修学旅行の準備を進めていく中で一番大変だったことはビザの申請で、アメリカ大使館で面接を受けるなどして何とか無事にビザを取得することができ、本当に良かった。

出発の日、みんなは緊張や期待などの気持ちを抱え、成田空港に集合した。中には飛行機に乗ることが初めてだった人もいたが、時間が経つとみんな機内ではリラックスしていたように思う。ダニエル・K・イノウエ国際空港に到着し、

いよいよ本格的に修学旅行が始まると実感した。

たくさんさんの思い出がある中で、特に二つの出来事が思い出に残っている。その一つは初日から三日目の朝まで行われたホームステイだ。私のホストファミリーはフィリピン人の家族で、とても明るく、私の班のメンバーの英語もよく理解してくれた。夜には車でホノルル市内をドライブし、ホノルルの素晴らしい景色を見ることができた。また、日曜日には教会のミサに参加し、教会の合唱団の素敵な歌声に感動したこともいい経験となった。

二つ目は四日目に行われたホノルル市内班別自主研修である。私の班では自主研修中は英語だけを話すというルールを決め、私は班のメンバーに様々な英単語やフレーズを教えながら自主研修を行い、班のメンバーもそれに応えて一生懸命に英語を話す努力をしていた。

この修学旅行の期間に、私は様々な人々と出会い、またクラスの仲間と新たな人間関係を作ることができたのでとても良かった。この修学旅行での経験は一生忘れることがないだろう。





☆ 体育祭

3年B組 寺崎 雄翔

今年の体育祭は、クラス対抗で競技を行う活気に溢れるものになりました。クラス対抗になったことによって、クラスの皆で話し合い、より一層団結力が深まりました。今年度はラグビーワールドカップ日本大会の関係で実施日の変更があり、実行委員や先生方とコミュニケーションをとり、早い段階で協力して解決しました。

各学年の人数やクラスの数が違うなか、実行委員は学年の垣根を超えて皆仲良く楽しく取り組みました。それぞれの立場や役割を把握して動くということは、体育祭だけではなく、今後の人生にも役立つと思います。

終盤まで接戦が続き、今年度は3年D組が優勝する結果となりました。さらに他学年も入賞する接戦になり、最後まで展開が読めず、結果発表の時には、生徒・先生方・来賓の方々が一体になり、競技場全体が非常に良い雰囲気

気に包まれました。昨年は雨天により実施できなかったため、今まで以上に思い出に残る体育祭になった気がします。最後に体育祭を実施するにあたり、ご協力を頂きました方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。来年度以降も、より良い体育祭になることを心から願っています。



☆ 球技大会

球技大会実行委員長

3年B組 田谷 紗奈

今年の球技大会は六月二十一日に葛飾区総合スポーツセンターで、男女バレーボール・男女バスケットボール・男子卓球と昨年とは一部種目を変更してクラス対抗で行いました。

球技大会当日に向けて、クラス代表の実行委員や生徒会で何度も話し合いました。特に大変だったのは種目変更に伴う変更でした。変更した男女のバスケットボールでは、進行・球技大会用の試合のルール変更が大変でした。また、昨年までの反省をもとに、どうしたらみんなが楽しめるかを考えました。そして、新たな試みとしてはクラス毎に曲決め、入場曲としました。

球技大会当日は、例年にないほど白熱した試合が展開され、応援では、自分のクラスだけでなく、クラス・学年の垣根なく応援する選手の姿に感動しました。そして何より私が嬉しかったのは、みんなから楽しかったよとか、3年間で一番楽しかったよと言われたことです。この時は、実行委員・実行委員長をして本当に良かったと思いました。

協力してくれた選手・実行委員・生徒会・先生方、本当にありがとうございました。



☆ 部活の紹介

○ バドミントン部の活動

部長 3年A組 大森 浩輔

私たちバドミントン部は毎週火曜日・水曜日・木曜日の週3回と大会前には土曜日・日曜日も練習をしています。活動内容は、基礎練習と応用練習をしています。基礎練習では、フットワーク・ランニング・基礎打ちをしています。応用練習では、2対1や4対2など工夫をしながら日々練習をしています。

8月に二つの大会に出場しました。一つ目は、新人戦兼関東選抜大会都予選大会です。男子は4ペア、女子は1ペアが個人戦のダブルスに出場しました。そのうち男子3ペアと女子が1回戦を突破することができました。2回戦ではどのペアもファイナルセットまで粘ることができたのですが惜しくも勝つことができませんでした。

二つ目は、私学第六支部大会です。男子が2チーム・女子が1チーム団体戦に出場しました。予選は総当たり戦で行われ3校中2校に勝ち決勝トーナメントに進むことができました。決勝トーナメントでは1回戦で惜しくも負けてし



まいりましたが、ベスト4に入ることができました。

現在は2年生・1年生で活動しています
が、私たちの記録を超えていつて欲しい
です。



○卓球部の活動

部長 3年D組 辰巳 大和

私は、3年間卓球部に所属し、さまざまながあった。最初は、部活動での態度が悪く、先輩方や顧問の安達先生に迷惑をかけた。しかし、先輩方や安達先生はとても親切に接してくださり、一度迷惑をかけたことはすぐに直そうという気持ちになった。

2年生の夏に先輩方が引退すると、私は部長として部員を引っ張っていくことになる。部活動に所属した当初、迷惑ばかりかけていた私が部長の役目を引き受けたが、自分の力でみんなをまとめることができるか不安でした。それでも私は、部長として「団体戦でチーム一丸

となつて行動し、勝利すること」を目標に考えた。私が今まで活動する中で、団体戦での勝利が一度もなく、シングルスで勝利を目指すことも大切だが、それ以上に団体戦に向けて部員全員の力で勝利することの方がずっと素晴らしいことだと思った。

そして、私達3年生の引退試合となる7月の地区別大会があり、この大会は団体戦だった。最後の大会ということもあり、今までの大会とは、違う緊張が走った。私は、目標として日々取り組んできたことを見せる最高の舞台だと思った。一番手の私は、勝利することができたため、一安心したが、2勝3敗という結果になり、チームは2回戦に進出することはできなかった。結果を見ると悲しく、悔しい気持ちだった。しかし、部員一人一人がチームの勝利のために、一生懸命頑張って戦っていたことがうれしかった。

最後に、後輩達が団体戦で良い結果を残せることを願っています。

3年間ありがとうございました。



○自然科学同好会の活動

部長 3年C組 安達 圭吾

私たち自然科学同好会は2019年夏季合宿として埼玉県の秩父というところに行きました。

合宿では橋立鍾乳洞や蓮園、岩畳、自然の博物館といった場所に行きました。鍾乳洞の中はとても涼しく高低差があり石筍・鍾乳石・石柱が垂れ下がっていてとても綺麗で自然の力だけで作られたものとは思えませんでした。岩畳では秩父赤壁という急な崖やポットホールという礫や小石などが長い年月をかけてすり鉢状に削ってできた穴を見ました。凄まじい迫力の虎岩などを見ることができました。岩畳は地学では有名な重要な土地で、世界でも珍しい景色です。地球の窓と言われ、全国から学者が集まるところです。



また、自然の博物館では巨大なメガロドンの模型、埼玉の森を再現したジオラマ古秩父湾の地層・化石、秩父鉱山の鉱物を見ました。実際に触れる剥製のコーナーがどれも貴重な体験ができました。

班対抗で館内クイズに挑戦し、どのチームも景品のカードをもらいましたが、レアカードを見て、顧問の庄司先生が欲しがっていたのが印象的でした。また、博物館の周りには高さ20m以上のメタセコイアや日本地質学発祥の地の碑といった他にはないものを見ることができました。夜には宿の近くで天体観測をしました。秩父の星空は東京よりも星が良く見え、流れ星を見ることができました。生徒たちが「流れた!」と言っている中、顧問の庄司先生はひとつも見ることが出来ませんでした。

合宿をして、校内活動ではすることができない体験ができ、部員たちの結束も高まり、とてもいい思い出となりました。

○写真部

一年B組 太田 勇真

みなさん、こんにちは。この度は江東5区写真コンクールでユース賞を受賞しました。写真部に所属して初めて応募したコンテストで賞を受賞することが出来てとても嬉しいです。受賞した写真の作品名は「庭先に咲く紫陽花」です。この写真は、今年の六月、部活で学校周辺の野外撮影をした時のものです。学校の

グラウンドのそばに咲いていた紫陽花が目にとまり、シャッターを押しました。この写真は紫陽花の花が際立つように意識して撮影しました。



ユース賞を受賞した作品

先日、よみうり新聞本社で授賞式が開催されたため、母と一緒に参加しました。表彰された方は高齢者の方が多く、同年代は誰もいませんでした。表彰状の他にも、スポンサーの方からたくさん商品も頂きました。

今後の目標は、技術の向上です。規模の大きなコンクールでも通用する写真を撮りたいです。これからも部員同士、切磋琢磨しながら、実績を残していきたいです。

○日米親善大会に出場して

レスリング部顧問 岩崎 太郎

六月二十六日に、東京実業高等学校体育館で、第五十八回日米親善高校レスリング東京大会が行われました。本校からは、中村宗達君（3年）が55kg級の東京都代表として出場しました。

アリゾナ州選抜チームと対戦し、外国人特有のパワフルな攻めに苦戦する場面もありましたが、最後は豪快な投げ技で相手を抑え、見事フル勝利を収めました。

東京都代表チームは9対4でアリゾナ州選抜チームに勝利し、チームの勝利にも貢献しました。

レスリングという競技は対人競技ではありますが、相手に勝つ前に自分自身に勝たなければなりません。厳しい練習を乗り越えたその先に勝利が待っているのです。

中村君は本校入学後にレスリングを始めました。部員が少ないなか、他校に出稽古に行ったり、トレーニングをしたりと自らを追い込み、厳しい練習を積んできた結果だと思っています。

将来はプロレスラーになることが夢とのことです。デビューを果たした際にはぜひ応援をお願いします。

最後に、校友会の皆さまには、日頃よりレスリング部の活動にご支援を頂きありがとうございます。今後も全国大会に出場できるよう頑張っていきたいと思っています。

○生徒会

生徒会長 二年A組 木下 瞳

校友会のみなさま、ごきげんいかがでしょうか。このたび、生徒会長になりました木下瞳と申します。どうぞ、よろしくをお願いいたします。



今年度は前年度よりも立候補者の人数が増え、一年生が五名入会しました。意欲にあふれた一年生のおかげで、今年度の生徒会は明るくにぎやかになりそうです。昨年度までは頼もしい三年生の先輩方がいましたが、今年は私が会長として頑張らなくてはなりません。

次の代が安心して引き継げるような生徒会にするためにも、何事にも一生懸命活動していく所存です。



生徒会では、生徒からの意見や要望を「目安箱」を通して、確認しています。今年に入ってから生徒の要望がいくつも生徒会に届いています。「携帯電話について」、「自動販売機について」などの要望が出ています。実現することは難しい面もありますが、中央高校の生徒がより良い学校生活を送るためにも少しずつでも改善できるよう努力していきます。

◎新人紹介

国語科専任講師 中村 咲

今年度から国語科の専任講師を勤めさせていただいています。二年生の学年付、部活動では吹奏楽部を担当しています。

私は大学時代、戦争文学をテーマに卒業論文を執筆しました。戦争文学は当時事実を伝えたくても校閲が厳しく思い通りに書くことができなかった作者の葛藤があり、また、美談として作品に残すことで国民の戦争への意識を高める役割を果たしていたと言われています。このようなことを知り、戦争文学に興味を持ち、当時と現在の時代に合わせた視点で戦争文学について研究しました。こうした、大学時代に学んだ、テキストを深く掘り下げることや、課題を調査し、研究することは教員になってから仕事で生かしていきたいと考えています。テキストを深く掘り下げることや、解釈の幅を広げ、想像力を養うことができるため、生徒にも文章の一文一文を読み解く楽しさを教えられたらいいなと考えております。

また、私は司書教諭の免許も持っていますので、授業でも読書教育を見据えた授業を取り入れることを心がけています。授業はきっかけの一つに過ぎませんが、生徒に本の面白さを伝えたいと考えています。中央高校の生徒に限らず、最近では中高生の読書離れが見受けられるので、生徒にとって学校図書館がより身近

な施設となるように本の魅力を発信していきたいです。

最後に、まだまだ未熟者ですが、これからもご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

中央学院高校

「中央学院高校の近況」

教頭 中野 敏之

平成30年度は新入生357名を迎え、総数998名でスタートしました。教職員は生徒と共に本校の特色を最大限に活かす学校作りに日々努力を重ねています。

また、タブレットを活用した学習や正課外学習（長期休業中の講習・模擬試験の事前事後指導・検定対策講座など）の取り組みは2年目に入り徐々にその効果が表れていると感じています。生徒達には勉強や部活動以外の様々な事に積極的にチャレンジしています。

平成30年度の進路状況は、中央学院大学への進学者数は49名、その他大学への進学者数は225名、短期大学への進学者数は12名となり大学短大への進学率は79.9%を達成しました。生徒達は明確な目的意識をより確かなものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。

2学期に入り、学院祭（来場者数約1,900名）や体育祭、校技大会（剣道・弓道）など学校行事を通して生徒一人ひとりがお互いに相手を認め合い、尊重し

合い、微笑ましい雰囲気が校内に満ちています。本校は来年度創立50年を迎えます。この50周年はゴールではなく遠くを見据え、確実に歩みを進めていく未来へとつながっていると実感しています。



学院祭 書道部ブース



体育祭 バトンタッチ

最後に令和元年度の主な部活動の結果を報告します。

・陸上競技部

第72回千葉県陸上競技選手権大会

男子5km 前田啓太（3年）優勝
関東陸上競技選手権大会

男子5km 前田啓太（3年）6位入賞
第23回関東高校選抜新人陸上競技選手権大会（千葉県東総運動場）

男子5km 篠原寛（1年）2位
弓道部

・弓道部

関東高等学校弓道個人選手権選抜大会
出場（明治神宮）

山崎 晴人（1年生）

・サッカー部

第39回千葉県私立高等学校サッカー大会 準優勝
書道部

・書道部

全国高等学校書道パフォーマンス選手権（愛媛県四国中央市）
関東予選1位で「書道パフォーマンス甲子園」出場決定

第43回全国高等学校総合文化祭（219さが絵文）
書道部門 関川 絢香

全国高等学校書道パフォーマンス選手権（愛媛県四国中央市）
「書道パフォーマンス甲子園」出場

その他関東大会出場部活動
サッカー部、男女バレーボール

中央学院大学

中央学院大学の近況

◆学生会館のリニューアルオープン

平成3年に造られたキャンパスライフの拠点である「学生会館（ヴィア）」が、令和元年9月にリニューアルオープ



2階 カフェエリア

ン。「キャンパスライフを一層充実させる活動・学習・憩いの場」をコンセプトとし、2・3階部分を学生の多様な活動を支えるための環境を整備しました。

2階は、気分で選べるテーブルやソファ席、電源付のハイカウンターを設置した「カフェエリア」、パブリックビューイングや各種発表・地域交流イベントに使用できる「コミュニティエリア」、ちょっとした親睦会や打ち合わせに最適な「ミーティングエリア」に区分。また3階は、自主学習や読書、ゼミナールに適した「ラーニングエリア」や一人掛けチェアなどでゆったりと心身を緩ませリラックスできる「リフレッシュエリア」とイベントや会議、パーティーなどに利用可能な「レセプションホール」があります。

今後は、学生だけでなく、卒業生や教職員、地域の皆さまにとってより快適に、そして、より役に立つ理想的な「学び・活動・憩いの場」として活用していきます。



3階 ラーニングエリア

◎卒業生 武井 壮さんが来校

七月十七日(水)本学体育館にて、東京2020オリンピック火リレーランナーへの応募PRイベントが行われ、本学卒業生の武井 壮さんがゲストとして登場しました。武井さんは、本学在学中の1997年(平成9年)に行われた「第81回日本陸上競技選手権大会」において、競技歴わずか2年半の十種競技で見事に優勝、日本一に輝きました。また、2018年にスペインのマラガで開催された「世界マスターズ陸上2018」では、男子400メートルリレー(45歳クラス)に日本代表の第一走者として出場し、43秒77のタイムで優勝するなど「百獣の王」としてのタレント活動だけでなく、今でも様々な分野で活躍されています。

イベント中の質問では、武井さんが学生時代に過ごした我孫子市の天王台にある坂道で毎日何本もダッシュをしていたことや練習では毎日新記録を出すことを自分に課していたことなどを話してくれたほか、「日本一質の高い練習と日本一の練習量をこなせば絶対に日本一になれる。勝てない時

は自分に何かが足りないと思つて研鑽に努めて欲しい！」と後輩達にも熱いメッセージを送ってくださいました。

参加した学生たちからは、「トレーニングは"ota:くらい」と感じてからが勝負、そこから力が付く、という言葉に自分も頑張ろうと思いました。」「テレビでのイメージ通りきさくな人柄の方で、お話しできて嬉しかったです。」などの感想が聞かれました。

☆「第五十三回あびこ祭」開催報告

十月二十六日(土)・二十七日(日)に「第五十三回あびこ祭(大学祭)」が開催され、当日は天候にも恵まれ五千六百名の方にご来場いただきました。様々な年齢層の方が一緒に楽しみ、たくさん笑顔が見られた2日間でした。

初日のメインステージでは、本学の吹奏楽団、チアリーディング部、書道部がステージを盛り上げ、さらには「手賀沼ジュン」、「color code」の一体感あるライブパフォーマンスで会場を魅了。フィナーレは「ダイノジ」と「インディアンズ」のお笑いライブで幕を閉じました。2日目は、中央学院高校の書道部、吹奏楽部、軽音楽部によるパフォーマンスでスタート。その後「ALTA NICA」が透き通る歌声を響かせ、2日間のフィナーレを飾ってくれたのは次世代を牽引するアーティストの呼び声高い「ベリーグッドマン」。パワースタッフと呼ばれる応援歌は、多くのプロ野球選手の登場曲にも使われており、ステージでも力強いハモニーと熱いメッセージで会場を沸かせてくれました。



硬式野球部「横浜市長杯争奪第十五回 関東地区大学野球選手権大会」出場

千葉県大学野球秋季リーグ戦（一部）で準優勝をおさめ、「横浜市長杯争奪第十五回関東地区大学野球選手権大会」（関東大会）へ3年ぶり5回目の出場を果たしました。関東大会は、千葉県大学野球連盟、関甲新学生野球連盟、東京新大学野球連盟、首都大学野球連盟神奈川大学野球連盟より、各上位二校が出場する大会。十月二十八日（月）、上武大学との初戦が行われましたが、残念ながら0対1で惜敗いたしました。

駅伝部「学生三天駅伝（出雲・全日本・箱根）」出場 十月十四日（月・祝）、学生三天駅伝の開幕戦となる「第三十一回出雲全日本大学選抜駅伝競走」が開催され、五年連続一〇回目の出場となった本学駅伝部は、出場二十一チーム中十一位という結果で大会を終えました。

また、通算十三回目の出場を果たした十一月三日（日）開催の「第五十一回全日本大学駅伝対校選手権大会」においては3区終了時点で十七位と苦戦を強いられるも、後半の区間で挽回を見せて、シード権まで二十八秒差に迫る十位でのフィニッシュとなりました。そして2020年1月2日（木）・3日（金）は、十八年連続二十一回目の出場となる「第九十六回箱根駅伝」。今季は台風十九号の影響により、駅伝部の練習拠点となっている陸上グラウンドが水没するなど日々のトレーニングにも支障が出ていましたが、現在では使用できるようになりました。大会本番に向けて懸命な努力を続けています。引き続き、皆さまからの熱いご声援をお願いします。

令和元年

校友会のつぎ

51期会

定例の51期会を11月17日に東海大学校友会館で実施しました。
「年だから仕方ないのしやうがないでしようが、病気の話が主になりました。幹事が持ち寄った景品をジャンケンで分け合い、来年も元気に会う約束をして散会しました。」



中央高等学校51期会 2019.11.17 東海大学校友会館（四ツ宮ビル）

☆同期会補助金

卒業生の皆様には、同様の会合を開く場合に校友会から補助金が出ますので、ご連絡ください。

令和2年の合同新春懇親会

卒業生が学校行事に参加できる機会です。日頃、付き合いのある同窓生をお誘いして、お申し込み下さい。

記

日時・令和2年1月31日（金）

18時受付

18時30分開会

会場・アンフェリシオン

江東区亀戸1の23の1

03・5608・5381

会費・六〇〇〇円

申込・FAX 03・5836・7025

氏名・住所・卒業期・連絡先を記入下さい。

「中央高校の教育整備費に係る ご支援のお願い」

令和2年（2020）に創立120年を迎えるに当たり充実した教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めて行くことを目的として始められました。日本の経済状況が先の見えない厳しいところがありますが、母校発展のためにご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご賛同の方は、あらかじめ学校に連絡頂ければ振込用紙を本人宛に郵送いたしますので、活用ください。

「校友会費の説明並びに 納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっております。

年会費 三、〇〇〇円

特別会費 二〇、〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇、〇〇〇円を決定いたしました。が、以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さった方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただきますのは当然でありますが、諸事高騰の折柄お願いとして年会費も御払込願えれば幸いです。今後は年会費で通常経費をまかない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛にご納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票（振込手数料無し）でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇一三〇一五一一五一一九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇三四七二五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇七一

江東区亀戸七六五一二

TEL 〇三ー五八三六七〇二〇